

自昭和十九年九月一日
至昭和十九年九月三十日

陣中日誌

22684

獨立混成第十五聯隊第四中隊

陣中日誌ノ例式

第一

陣中日誌ハ左ノ諸部ノ團隊ニ於テ作ルハキモトス
大本營ノ各部(郵便部ヲ除キ)計等司令部(編制上各部ニ区分ス
ルモノハ其各部毎ニ但郵便部ヲ除ク)兵站監部ノ各部兵站司
令部聯隊大隊獨立中隊砲兵聯隊機列保衛團獨立標壘獨立
立砲臺電信隊衛生隊病院縱列監視隊兵器廠隊預備隊豫備廠
患者輸送部馬廠

留守司令部及補充諸部隊(其ノ中砲兵隊砲臺隊砲臺廠砲臺預備隊砲臺預備廠)
作リ首トシテ第三項ニ掲グル機具ニ進テ記載スヘシ

第二

陣中日誌及留守日誌ハ諸隊團隊動員令及領ノ目ヨリ記載
スヘキモノトス

特別部隊等ニ在テハ先ツ到着セシ將校又ハ同相當官之カ記載ヲ始

メ後ニ之ヲ主梅者ニ依テ記載ス

第三

之ヲ作ルハ陣中日誌ノ例式ニ依テ記載ス

甲、各人若クハ諸部團隊ノ經歷若クハ遭遇シタル實況ヲ記載シ
一ニハ戰史ノ用ニ資シ一ニハ各人ノ勤勞ヲ他日銓衡スルノ參
考ニ供ス

乙、編制教育補充給養衛生武器彈藥器具材料被服裝具
等凡テ軍中事關タル事物ノ經驗ヲ錄シ將來改良ノ材料ト爲ス

第四

甲ノ目的ヲ達センハ左ノ諸件ニ注意シテ記載スハシ

一、命令、訓令、通報(機密作戦日誌ニ記載スルモノハ軍簡ニ其要領ヲミナリ
摘載シ其詳細ハ該作戦日誌ニ付記スハシ)

二、毎日ノ位置(某地ヲ去テ其
地ニ留ル等)

三、行軍、宿營ニ關スル事項

四、戰鬥ノ景況(戰鬥ノ顛末ヲ記載スヘキモノニテ隣接部隊ト關係及緊要
ノ時機ニ於ケル部隊位置ノ略圖ハ殊ニ明確ナラシムルヲ要ス)

五、戰鬥間ニ生シタル事件

以上ノ事ヲ記スルニ方リ時刻ヲ詳記スルコトヲ忘ル可ラス又以上ノ事ニ
關シ自己ノ部隊ニ影響セシ事項(天候、地形、險易、道路、食糧ノ入
家ノ多少等)ハ時間短ニ附記セサル可ラス

第六 所屬セシ軍隊ノ區分(當大隊ハ前兵アリ或ハ
本隊ノ先頭ニ在リ等)

轉任、死傷等將校ノ官名ヲ錄シ下士兵卒及馬匹ノ共數ヲ錄ス

休戰中ノ宿營

九野戰作業等ノ施設

中其凡ソ其一日間ニ生セシ緊要ノ事項

第五 目的ヲ達センニハ左ノ諸件ニ注意シテ記載スハシ

一、武器、彈藥、器具、材料、被服、裝具等ニ關スルモノ

二、編制及諸規令ノ作戰上ニ及ボシタル影響等

三、補充給養及衛生ニ關スルモノ

四、發育及軍紀ニ關スルモノ

五、非常ノ時機ニ際シテ爲タル非常ノ處置例ハ敵地ニ在テ

住民ニ多額ノ命令ヲ課スル等

第六 高等司令部

ニ送呈セル報告、詳報其他死傷表、武器彈藥、糧食、被服、衛生、小銃等、
 至レル報告等ハ、尾ヲ其要領ヲ摘ミ、記事ノ後ニ、低書シテ参照ニ備
 フ、ハシ、但各原本ハ、種類毎ニ一捲シテ保存スルベシ、
 秘密ニ屬スル特別任務等ニシテ當時之ヲ日誌ニ掲載スル能ハサルモ
 ノト雖モ、其妨ナキニ至テハ、成ルヘク詳細ニ其顛末ヲ記載スルモノト
 ス

第七 凡ソ此ノ日誌ハ、日誌ハ、日時(順序ヲ遠ク)ト、地名トヲ明記セザル可
 ラス、而シテ諸部團隊ノ長(或ハ參謀長)之ヲ監檢シ、毎日記載ノ結尾
 ニ捺印、或ハ華押ス、ハシ

第八 此日誌ハ、諸部團隊復員完結ノ日ヲ以テ終局ト爲シ、直ニ
 本ヲ謄寫シ、順序ヲ經テ陸軍省ニ原本ハ、其部隊ニ格納ス、ハシ
 陸軍省ハ、此日誌中ヨリ所要ノ事項ヲ抄録シテ之ヲ保存シ、他ハ皆參
 謀本部ニ送り、之ヲ陸軍文庫ニ格納ス、ハシ

第九 此例式ハ、必ズ陣中日誌ノ卷ノ首ニ貼付ス、ハシ

九月一日、左ノ通り作業ヲ實施ス

金曜日

晴

於兼次

作業

指揮班交通壕ノ經指及棲息掩蔽壕ヲ構築ス

第一小隊各分隊共ニ協力隊ハ、第二分隊ノ交通壕構築ニ協力ス

棲息掩蔽部ニ樵木伐出作業ヲ實施ス

第二分隊第一、四分隊ノ交通壕構築ニ當リ、協力隊員又

學童ハ、第一、四分隊ニ協力シ、長サ一七〇米、深サ一五

米、堀開ス、第三分隊ニ樵木伐出ヲ實施ス

第三分隊各分隊共ニ協力隊ノ構築ヲ實施ス

協力隊及學童共ニ、第三、四分隊ニ協力シ、二三、五米ヲ

堀開ス

作業人員兵百四名、協力隊員七四名、學童九三名

宿營地ニ兼テ國民學校

勤務三、日道勤務者

百直將校、日關曹長、同下士官小林伍長、同上等兵恒川幸

員四將校以下一三一總員

九月二日 指揮班 作業隊員ト協力シ交通壕ノ構築ヲナス

土曜日 第一小隊各分隊共ニ交通壕ノ構築ニ當リ一部ヲ以テ樞杖ノ

於兼次 偵探集積ヲ實施ス

第二小隊第一三四分隊ハ交通壕ノ構築ニ當リ作業隊ヲ

督勵シ約二〇米掘開大第三分隊ハ樞木ヲ採

ヲ實施ス

第三小隊各分隊共ニ協力隊及學臺ト協力シ交通壕ノ作

業ヲ實施シ長サ二三〇米深サ七〇厘米掘開ス

作業人員兵一〇九名作業隊 男七四名 學臺九三名

井會報 (一)各隊ハ明三日〇八三〇迄ニ軍大特業兵ノ各隊提出ノコト

(二)各隊陣地構築上必要ナル材料ヲ使南量ヲ精査

調査ノ上報告ノコト

(三)内務規定案ヲ意見ヲ九月十日迄報告ノコト

宿營地 三兼次國民學校

勤務 四日直勤務者

日直將校 山合少尉 同下士官 嚮部伍長 同上等兵 甚木上長

五井日命ニ基キ中隊長以下將校全員ニ〇〇ヨリ二〇〇間ニ

直リ左ノ部ヲ常會ニ出席ス

仲尾次中隊長ノ講話 大門中尉

時 山間片少尉 與那嶺 長越少尉

員六將校以下一三一各

九月三日 指揮班 協力隊員ト協力シ交通壕ノ構築ヲナス

第一小隊協力隊及學臺ト協力シ交通壕約二〇米ヲ完成ス

第二小隊第一三四分隊 樞木採集部 構築ニ當リ約五五米

一連四第二四分隊ハ學臺及協力隊ヲ督勵シ交通

壕ノ構築ヲナス

第三小隊第一四分隊ハ樞木ヲ採集ニ當リ第一四分隊ハ協

於兼次

日曜日

九月三日

命
獨一五作

カ隊及學童ヲ指揮シ交通壕ニ五〇米ヲ完成ス
作業人員兵一〇七名 協力隊男九三名 學童 九〇名

二、台灣西南海面ニ九月二日三三三警戒警報發令セラル
又伊江嶋飛行隊通報ニ依リ八月十七日ヨリ八月二十八日ニ要
間伊江嶋本部半嶋間ノ海域ニ敵機偵察信ヲ及信ヲ彈
ヲ發見セリ

三、地區隊ハ守備担任區域沿岸ノ監視ヲ強化セントス
四、地區隊ハ一部幹部ヲ武部隊ニ派遣シ其陣地構築狀
況ヲ實地視セシメ我カ陣地構築ニ資セント

井作命
四、九月四日ヨリ八月三十一日間各歸仁村ハ總力ヲ擧ケテ第二期水
稻植付ヲ實施ス
三、守備隊ハ九月四日全カヲ以テ第二期植付ヲ援助セントス
三、築田中隊ハ諸志仲尾次崎山與那嶺ニ協力ス
五、兼次國民學校

勤務

人員

九月四日
月曜日
晴
於兼次

植付援助

井日命

六、日直勤務者
日直將校 大門中尉 同下七宿早嶋佐長 同上等兵 根橋兵長

七、將校以下一三一七名
一〇七〇。井作命ニ基キ左記通り第三期水稲植付援助

出發部落民ニ協力シ農業作業終了歸營ス
諸志 大門中尉以下三〇名

崎山 間守尉以下三〇名
與那嶺 長越少尉以下二九名

仲尾次 田開曹長以下二三名
二、九月五日別紙通り大隊兵器板查ヲ實施ス

三、陸軍中尉 關 泰郎 陸軍軍曹 岩淵亮
同 山下寛造 同 中條嘉春

同技術軍曹 長谷川精二
一、古者大隊兵器板查補助官及助手ヲ命ズ

(三) 各隊の概本直開始三十日前に準備を完了し中隊長、兵器係
將校一同有格位ハ三會ニハシ

(四) 第四中隊MG一ヶ小隊ハ約一七〇〇間トス 中隊長ハ三會
三一般ニ消耗品極度ニ困難ナル現況ニ鑑ミ各隊長ニ消耗品ハ
即用品好ト下

四 兼次國民學校

五 日直勤務者

日直將校 間片少尉 同下官 津藤伍長 同上等兵 竹山上等兵

六 將校以下一三一名

一 午前中ハ兵器手入ヲ實施ス

二 一五〇〇ヨリ中隊ハ兵器検査ヲ實施ス

三 一七〇〇一七三〇間大隊兵器検査由ラ受ケ 検査終了後大
隊長幹部ニ對シ兵器手入法及検査要領ニ就キ教育アリ

引續キ大隊長著任ニ當リ訓示サレタル要旨ヲ幹部全員ニ

獨混一五
會報

宿營地

勤務

九月五日

止曜日

晴

於兼次

對シ新ニ普及徹底セヨル

陸軍少尉 長越友雄

(一) 明日(六)地區巡察將校ニ服務スヘシ

(二) 明日(六)日血型検査ヲ實施スヘシ

(三) 九月七日編上靴ヲ修理ヲ實施ス

(四) 各隊ヨリ器具五兵一名ヲ本部ニ提出スル

(五) 各隊被服係下士官編上靴ヲ八三〇迄本部ニ提出シ同日

一七〇〇受領スル

(六) 蘇鐵廢物檢査方ヲ知シ犧牲ニカシ前例ノ如ク充分注意シテ

要又(大隊長)

六 兼次國民學校

七 日直勤務者

日直將校 長越支隊 同上官 中山伍長 同上等兵 大井川上等兵

八 將校以下一三一名

井日命

宿營地

勤務

九月五日

止曜日

晴

於兼次

井會報

宿營地

勤務

九月五日

止曜日

晴

於兼次

九月六日

水曜日

晴

於兼次

兵

板

一〇五三。黙呼後隊隊兵器検査受檢準備ヲ實施シ〇八

三〇兵器置杖。器具全部、配列ヲ了スルニシテ、

二〇九九。部隊本部ヨリ兵器検査者、同輝大尉以下補助官

自動車、依々来隊。九三。一〇二〇の間、兵器検査ヲ實施

セリ

三一二。ヨリ血型検査ヲ實施シ午後一般ニ休養ス

四一六。ヨリ中隊長以下將校全員兵器開カレ所見聴取、

大隊本部へ出張ス

井作命 五(一)中隊長橋本大尉、第一次陣地構築視察、

トシテ明七日ヨリ出張ス

(二)軍司令官、訓示受領ス(訓示別紙、如シ)

宿營地 六 兼次國民學校

勤務 七日直勤務者

訓示

國歩漸ク難キノ秋死生ヲ惜ニスベキ兵團長ト一會シ其ノ雄風ニ

接シテ所懐ヲ開陳スル機ヲ得ルハ本職ノ定ニ本懐トスル所アリ

量ニ本職ノ實ニテ存サレシメテ、

恐懼感服何レ以テカ之ニ替ヘシ

槍刃曠古危局直面シル皇國ガ弱米ヲ蒙羞シテ在瀾ヲ既倒

死國ノ命ヲ惜ムル者、

地ニ在リテ其ノ命ヲ惜ムル者、

其ノ命ヲ惜ムル者、

其ノ命ヲ惜ムル者、

其ノ命ヲ惜ムル者、

其ノ命ヲ惜ムル者、

第一 隊員の準備...
 第二 隊員の準備...
 第三 隊員の準備...
 第四 隊員の準備...
 第五 隊員の準備...
 第六 隊員の準備...
 第七 隊員の準備...

第一 隊員の準備...
 第二 隊員の準備...
 第三 隊員の準備...
 第四 隊員の準備...
 第五 隊員の準備...
 第六 隊員の準備...
 第七 隊員の準備...

九月七日

木曜日

晴

於兼天

井日命

中日命

宿營地

勤務

人員

九月八日

金曜日

將校以下一三一名

一〇七〇ヨリ指揮班及各小隊ハ各個掩体ヲ構築作業ヲ密

施シ一二〇凍業ヲ中止シ歸營ス(共一二〇名)

二午後井日命ニ依リ全員營内休養ス

三大隊長武部隊陣地構築状況實況ヲ明日ヨリ三日ヨリ

定テ以テ武部隊司令部ニ出張ス

四團中中尉大隊長不在間大隊長代理ヲ命ス

五六門中尉中隊長不在間中隊長代理ヲ命ス

六日直勤務者

七日直將校川合少尉同中隊長本係長同上等兵山城上等兵

二〇七〇中隊長武部隊陣地状況實視ヲ行ハシ出張ス

二〇七〇中隊長武部隊陣地状況實視ヲ行ハシ出張ス

於衆次 二〇七一〇校庭に於て大詔奉戴式ヲ行フ
作業状況 三各小隊ハ各個掩体ヲ構築シテ實施ス(兵一〇六名)

協力隊員ハ農繁ヲタメ休務ス

四警木兵長以下八名糧秣監視員トシテ〇八〇。出發シテ七老三〇

糧秣ヲ受領シ歸營ス

五兼次國民學校

勤務 六日直勤務者

日直將校 大門中尉 同下士官竹前伍長 岡等兵 松本上等兵

人員 七將校以下一三〇名

九月九日 一農繁ヲタメ休務中、協力隊ハ本日ヨリ出動作業ニ協力ス

上曜日 指揮班 陣地ヲ構築及棲息施設部、作業ヲ實施ス

雨後晴 第一小隊 各分隊共ニ交通壕ヲ構築ニ當リ、作業隊ハ第四分隊

於兼次

ニ協力シ交通壕一三〇米完成ス

作業状況

第二小隊 協力隊ハ第三四分隊ニ協力シ交通壕一四〇米完成ス

諸書奉請式、際ニ於テ部隊長訓示要旨

一將兵學ヲテ投身難ニ赴キ宣戰ノ大詔示ヲ給ヘテ戰事目的究極ニ

徹底シ凡有困難、障礙ヲ克服シテ戰勝獲得ヲ期スル也

二眞ニ皇國ノ興廢ヲ決スヘキ當本部半島ノ重要性ヲ鑑ミ此ノ地ニ

於テ敵ヲ擊滅スル光榮ヲ戰場ニ參加シ得ルコト眞ニ男子ノ本懐

タル所以ヲ銘肝セヨ

三常ニ益ヲ取テ敵ヲ精神ヲ振起シ爾到テ準備ト猛訓練ヨリ必勝信念

ヲ堅持セヨ

四健康ニ充分留意シ戰力ヲ發揮シ遺憾ナク期セヨ

五

六協力隊ハ夫使用シニ一

七

八

九

十

九月十日 九月十日 九月十日 九月十日

九月十日 九月十日 九月十日 九月十日

九月十日 九月十日 九月十日 九月十日

九月十日 九月十日 九月十日 九月十日

九月十日 九月十日 九月十日 九月十日

橋

命 宿營地 勤務

員 五將校以下一三〇名

九月十日 日曜日 晴 於兼次

作業状況

第三小隊第一三四分隊、棲息掩蔽部、構築ヲ行シ、第一分隊ハ

九月十日、島尾、野豊、城村附近ニ於テ砲兵試驗射撃ヲ實施ス

日直將校間片少尉、同下官、宿上伍長、島上等兵、山右五等兵

第一中隊長昨日引續キ陣地視察中ナリ

第二指揮班各欄掩体、構築ヲ實施ス

第三小隊交通壕、構築ニ方リ、第二分隊營上重ヲ以テ分隊ハ

協力隊ニ夫、使用シ、ニ、米ヲ構築ス

第四小隊第一分隊、協力隊員ト協力シ、交通壕、築キ、米ヲ構築

築キ、第三分隊、棲息掩蔽部、掘削及協力隊ヲ以テ

交通壕ニ米ヲ構築ス、第五分隊ハ交通壕、築キ

指ヲ行ヒ第四分隊ノ學童ヲ使用シ交通橋四架ヲ構築ス

第三分隊各分隊ノ交通壕ノ偽裝及修正作業ヲ實施ス
作業人員兵百四名協力隊男九名 學童九八名

三 兼次國民學校

宿營地
勤務
四 日直勤務者

日直將校 長 越少尉 同 上等兵 山崎上等兵

員 五 將校以下一三〇名

九月十一日

一 中隊長陣地視察ニ引續キ部隊本部ニ於テ中隊長會同ニ出席シ二二三。歸隊ス

於兼次
晴

二 指揮班ノ各個掩体ノ構築ニ當リ(一三)各小隊ノ協力隊並ニ學童ヲ督勵シ交通壕約四〇米ヲ構築ス

宿營地

三 兼次國民學校

作業人員兵一〇七名 協力隊男二九名 學童六一名

勤務
四 日直勤務者

日直將校 田間曹長 同 上等兵 竹内 同 等兵 柳澤 等兵

員 五 將校以下一三〇名

九月十日

一 協力隊ノ降雨ニ應ジ播種種植付テ其ノ休養ヲ
指揮班ノ棲息掩蔽部ノ掘削 掘入作業ヲ準備シ行ヒ各小隊
ノ雨後ニ於ケル交通壕ノ補修 排水溝ノ構築作業ヲ實施ス
作業人員兵一〇九名

於兼次
火曜日

二 中隊長會同ニ於ケル事項ニ關シ學科ヲ行フ

宿營地

三 兼次國民學校

勤務
四 日直勤務者

日直將校 川倉 同 上等兵 野村 同 上等兵 瀧澤 上等兵

員 五 將校以下一三一〇名

九月十日

一 協力隊ノ本日ヲ耕作スル休務ス 指揮班ノ棲息掩蔽部ノ

水曜日

晴

於第次

井日命

宿營地

勤務

九月五日

木曜日

晴

於第次

進入行日之小隊之交通壕、偽裝及排水溝等處、

作業人員一〇七名

二、第四中隊より暗號手要員二名選定、

三、明日大隊幹部教育ヲ實施ス、將校全員〇八〇、大隊本

部ニ集合スルシ

三、兼次國民學校

四、日直勤務者

日直將校大門中尉、同下士官小林伍長、同上等兵吉澤上等兵

五、將校以下一三一七名

一〇七〇、中隊長以下將校全員、大隊幹部教育ニ參加ス

午前中於本部學科、午後現地教育

二、本日より協力隊出動シ各小隊ニ協力シ交通壕四九〇米ヲ構

築ス、第三小隊第三四分隊ハ棲息部ヲ侵入シ實施ス

作業人員一〇五名、協力隊男六五名、學童

命

九月五日

宿營地

勤務

九月五日

木曜日

晴

於第次

井日命

宿營地

勤務

九月五日

木曜日

晴

於第次

井日命

三、地區隊將校對シ他隊陣地ヲ見學セシメ、自隊陣地ノ強

二、各隊ハ別紙計畫書其基ヲ所要ノ員ヲ演習ニ參加セムルシ

四、上等兵龍澤一暗號手要員シテ、故園本部ニ分遣シ、命

五、兼次國民學校

六、日直勤務者

日直將校、岡田少尉、同下士官岡田部長、同上等兵市田中尉

七、將校以下一三〇名

一指揮班陣地外偽裝ヲシテ各小隊ハ協力隊ヲシテ交通壕

構築ニ當リシテ兵ハ主トシテ棲息部ヲ侵入作業ヲ實施ス

海軍各員五五名、協力隊員二三九名、學童一五五名

二、本職九月七日、二、三日、多量ヲ以テ將校現地教育、

七、謝花及伊江嶋ニ出張ス

三、本職九月七日、陸軍少尉橋本安弘

本職出張不在間大隊長代理ヲ命ズル

陸軍中尉大野三將校現地教育専修員ニシテ九月十七日ヨリ

二百三十日ヲ予定シ以テ謝辞伊予島ヨリ出張スル

三 庶次國民學校

四 自直勤務者

自直將校長越少尉 同下士官早嶋也長同學兵砂地上等兵

人員 五 將校以下一三〇名

九月十六日 一本日風雨甚キモ大隊長ノ命ニ依リ協力隊ヲ督勵シ陣地

土曜日 備装及之交通壕ノ排水ニ努ム兵一部ヲ以テ棲息部ノ排

雨風 水ニ事ヲ實施ス 陸軍兵一七名協力隊二四名學重二三名

於東次 獨混三五島 陸軍少尉 間片謙 三

宿營地 三 熱次國民學校 (陸軍中尉大野三十五日附)

宿營地 三 熱次國民學校

勤務 四 自直勤務者

人員 五 將校以下一三〇名
日直將校 田淵曹長 同下士官早嶋也長 同學兵 山崎武上等兵

九月十七日 晴時 一 若小隊ハ協力隊並ニ學重ヲ指揮シ交通壕ノ補修ヲ信

日曜日 於東次 於東次 陸軍兵一八名 協力隊 二六名 學重 一〇六名

井作命 二 一〇七。九ノ通サノ命令ヲ電話ニテ受領ス

今ノ歸仁宗備隊ニ主カテ以テ伊江島飛行場ニ應援ノタメ出張ス

設営者 陸軍兵一三〇名 陸軍兵一三〇名 陸軍兵一三〇名

三 島川軍曹以下四名 自動車ニ依リ伊

五 島川軍曹以下四名 自動車ニ依リ伊

四 陣地構築ヲ兼テ中込ニ分屯隊ニ歸營シ井作命ニ

三 協力隊員各小隊連下士ヲ指示シ依

二 協力隊員各小隊連下士ヲ指示シ依

一 協力隊員各小隊連下士ヲ指示シ依

一 協力隊員各小隊連下士ヲ指示シ依

井作命三 守備隊命令 第三八號 一九〇〇

- (一) 大隊 八月十八日現在地出發 渡河 經三浦津嶋 三浦 飛行場構築 準備 後 八月二十日 三浦 飛行場 構築 完了
- (二) 各中隊 隊員 七月十八日 七月二十三日 迄 三浦 飛行場 構築 完了
- (三) 隊員 八月 九日 如命令
- (四) 各中隊 隊員 將校 一 月 六 日 渡河 (軍醫 指示 隊員)
- (五) 輸送 間 於 勤務員 在 如命令
- (六) 渡河 渡河 長 越 少尉
- (七) 各中隊 隊員 下 一 兵 三
- (八) 各隊 無線 教育 依 總 續 行 示
- (九) 現 在 地 陣 地 構築 準備 引續 實地 行 示
- (十) 服裝 及 携行 品
- (十一) 渡河 準備 必 銃 帶 引 彈 藥 (三 發)
- (十二) 機關 銃 輕 機 關 銃 擲 彈 筒 下 要

井作命 六 渡河 命令 井作命 第三九號

- (一) 大隊 八月 十八日 現在地 出發 行軍 依 先 前 渡河 之地 前進 行軍
 - (二) 各中隊 八月 十八日 七三 迄 三 集 合 行 示
 - (三) 各中隊 中隊 隊員 兼 次 隊 員 行軍 序列 行 示
 - (四) 各中隊 隊員 長 越 少尉 八月 二十日 迄 渡河 之地 行 示
 - (五) 聯隊 本部 搭載 隊員 中尉 指示 受 行 示
 - (六) 荷物 搭載 隊員 指示 依 行 示 現在地 出發 荷物 車
- 大隊長 井 三 大尉

隊先頭之連輸

(五) 行軍序列本部第五六機四中队

出發は十日の八時半迄に七列命

(六) 是日八時半の二機隊本部に在りて後部隊先頭を前進

六隊三六 井上大尉

指示 七分隊長以上二對の前項命令を徹底に點呼時迄に請進準備

ヲ進めし

指示 兼て國民學校

勤務 九日直勤務者

白邊將校川谷少尉 同上三宮三麻柄軍曹 同上等兵根橋上長

員 十將校以下一三〇名

九月十日 朝八時終り 殘留者 雁宮區處及兵舎内外に掃蕩

月曜日

於陳那 中隊長協力隊員二對に陣地作業強化に關し訓示ス

行軍

二〇八三。中隊ハ惠列シテ

〇八四。大隊長以下部隊ハ兼て校前に到着中隊ハ井上

二示ス行軍序列ニ入り〇九。五葉次ヲ出發後渡之池に向ヒ前

進ス (飛行場建設定應後隊出發ハ自來水採取也)

勤務

林三長兼少尉ハ自來水採取トシテ〇八三。中隊ハ先頭ニ

到ル。同日軍曹以下四名中隊荷物ヲ搬送シテ荷馬車

同行ス

殘留者

四間中尉以下七名ヲ以テ協力隊ヲ指導し奮勵シ兵舎内外

清掃環境を整理ス行フハ残留者

編混五作

五人聯隊ハ第一作業隊トシテ明日十九日より伊江嶋飛行場緊急

護定整備要綱ニ基キ全力ヲ費サケテ作業ヲ實施ス所命

日時迄ニ分擔區域ハ作業ヲ皆成セントス

五。各隊ハ明日十九日八時半迄ニ飛行場滑走路南端ヲ右翼下

ニ進利順ニ西面一線ニ集合スルニ

九月十九日

一 作業状況

火曜日

八〇八三〇 飛行場滑走路南端附近ニ集合シ旅團長閣下

晴

ヲ作業開始ニ關シ訓示ヲ受テ聯隊長、指揮下第

三島

一 作業隊トナリ担任區域ニ就キ作業ヲ開始シ二〇〇〇作

作業隊

業終了ス(一員一〇八名)

獨五

ニ 殘留隊ハ第一小隊陣地内爆破作業ヲ實施ス(八員三

會報

名) 九日、出勤人員表ヲ作業開始前迄ニ提出ス(シ

九三〇

ニ九月二十日ヨリ七、時刻終ニ爆破ヲ實施ス(シ

一五三〇

一八三〇

一八三〇

〇 明日ヨリ作業時間、七〇〇一五〇トス

〇 本夜現在確保ニシテ警戒ヲ監視スル為ニ各大隊員約一

分隊ヲ設置シ監視セルコト

三 伊江島、西路營

勤務 四 田道下士官、團原班長、司上等兵、竹山上等兵

三 伊江島、西路營

三 伊江島、西路營

三 伊江島、西路營

三 伊江島、西路營

三 伊江島、西路營

三 伊江島、西路營

三 伊江島、西路營

三 伊江島、西路營

三 伊江島、西路營

三 伊江島、西路營

三 伊江島、西路營

三 伊江島、西路營

三 伊江島、西路營

三 伊江島、西路營

三 伊江島、西路營

三 伊江島、西路營

三 伊江島、西路營

三 伊江島、西路營

三 伊江島、西路營

三 伊江島、西路營

三 伊江島、西路營

三 伊江島、西路營

三 伊江島、西路營

三 伊江島、西路營

三 伊江島、西路營

三 伊江島、西路營

三 伊江島、西路營

三 伊江島、西路營

三 伊江島、西路營

三 伊江島、西路營

三 伊江島、西路營

中原伍長以下一〇〇名ヲ監視衛兵ニ服務ス

人員 五 伊江島 將校以下一三三名

殘留 將校以下一七名

九月十日 一 作業状況

水曜日 八〇六一五 露田地ヲ土發、〇七〇〇ヨリ担任地區内、埋立敷地

晴 於伊島 作業ニ從事シ一九〇〇終了(一員一〇六名)

不殘留隊、引續キ於一小隊内、交通壕、爆破ヲ實施ス

(一員一〇二名)

三 伊江島、西路營

勤務 三 田道下士官、竹前伍長、同上等兵、鈴木兵長

人員 四 伊江島、西路營

殘留 將校以下一七名

九月十日 一 作業状況

水曜日 八〇六一五 露田地ヲ土發、〇七〇〇ヨリ担任地區内、埋立敷地

晴 於伊島 作業ニ從事シ一九〇〇終了(一員一〇六名)

不殘留隊、引續キ於一小隊内、交通壕、爆破ヲ實施ス

(一員一〇二名)

三 伊江島、西路營

勤務 三 田道下士官、竹前伍長、同上等兵、鈴木兵長

人員 四 伊江島、西路營

殘留 將校以下一七名

九月十日 一 作業状況

水曜日 八〇六一五 露田地ヲ土發、〇七〇〇ヨリ担任地區内、埋立敷地

晴 於伊島 作業ニ從事シ一九〇〇終了(一員一〇六名)

不殘留隊、引續キ於一小隊内、交通壕、爆破ヲ實施ス

	二 殘留隊ハ各小隊之カレシ小隊ハ協力隊ヲ使用交通壕ヲ構築
	二 當リ等兵ハ各小隊ハ交通壕ヲ構築シ協力ス
	(一員一一名)
	二 境上等兵不足其員蒐集シ之殘留隊ニ歸隊ス
宿營地	三 甲江嶋 野路營
勤務	四 日直下士官 同上 長 同上 等兵 六 井川上等兵
	五 第一小隊ハ対空射撃部隊トシテ服務ス
	一員 六 甲江嶋 將校以下 一 二 名
	或留 將校以下 一 八 名
九月二日	一 作業状況
宿營地	二 昨日ニ引續キ土ノ運搬 敷地作業ヲ實施ス(一員一六名)
於甲江嶋	二 協力隊ヲ第一三小隊ニ配當シ之交通壕構築ヲ又修セシメテ實
	施ス(人員一三名)
	二 不足員ヲ蒐集シ之殘留隊ハ歸隊中 境上等兵復歸ス

會報	三 爆破作業實施ノ時ハ心ヲ赤旗ヲ掲ゲルコト
	(四) 米以內ハ危險ナリ
宿營地	四 甲江嶋 野路營
勤務	五 日直下士官 中原正長 同上 等兵 境上等兵
	部隊日直將校 三 長 一 少尉
	六 竹内隊長以下ハ各大隊ヲ監視シ之ヲ報告ス
	一員 七 甲江嶋 將校以下 一 三 名
	或留 將校以下 一 七 名
九月二日	一 作業状況
宿營地	二 六 一 五 露野營地ヲ出發前日ニ引續キ運送シ又敷地作業ヲ
於甲江嶋	二 實施シ一七三ノ作業終了ス(人員一〇六名)
	二 殘留隊ハ協力隊ヲ第一三小隊ニ配當シ之交通壕ヲ構築シ
	協力セシム(人員一三名)
宿營地	三 甲江嶋 野路營

勤務三日直司令橋本大尉

日直下志宮野村班長 同上等兵宮林上等兵

人員 四伊江島將校以下一七名

残留隊將校以下一七名

九月三日留一作業状況

日曜日

晴

於伊江島

一〇七〇〇作業ヲ開始シ埋立地ノ敷地及垣開作業ヲ實施シ
八〇〇終ノス(人員一〇二名)

二残留隊ハ協力隊ヲ指揮班及第一小隊ニ配當シ棲息掩蔽部ノ破壊箇所ノ補修並ニ交通壕ノ構築ヲ實施ス(人員一五名)

三唐崎ノ一等兵ノ疾病ノタメ残留隊ニ歸隊シ飯木兵長中村一等兵ハ器具ヲ收得ノタメ一泊ノ予定ヲ以テ残留隊ニ歸隊ス

四(解隊ハ九月二十五日二十六日兩日間第一作業隊ヨリ協力セシムル
自動貨車四輛ヲ以テ既埋立地ノ補修ヲ實施セントス

五(西井少尉ハ前項自動貨車ヲ以テ第二天隊担任区域ノ土壤ヲ

以テ既埋地ノ補修ヲ實施スヘシ

三(各二艘中隊ヨリ兵五明二十五日〇七〇〇迄ニ第二中隊ノ作業場

ニ差出シ西井少尉ノ指示ヲ受ケシハシムルハ同匙携行トス

宿營地 四伊江島 露路營

勤務五日直下志宮小隊長 同上等兵 岩上等兵

人員 六伊江島將校以下一〇名

残留隊將校以下 二〇名

九月三日留一作業状況

日曜日

晴

於伊江島

一〇七〇〇ヨリ前日ニ引續キ堀取・敷地土・運搬作業ヲ行ヒ
第三小隊ハ機關銃中隊ト協同シテ埋立作業ヲ實施ス

人員一〇三名

二残留隊 協力隊ハ野菜播種ノタメ休務ス兵ハ交通壕ノ

爆破作業ヲ實施ス(人員一三名)

備後五
會報

二(明二十五日〇七〇〇ヨリ修理軍靴ヲ各隊隊員ニ取纏メ民房樓

橋ニ差出シ野村軍曹ニ引渡スヘシ簡單水洗ヲシ註記

確實ニスルコト

宿營地 三伊江島 露營

勤務 四日直下士官 副部位長 同上等兵 松下上等兵

員 五第二小隊 対空射撃本部隊トシテ服務ス

員 六伊江島 將校以下一一名

残留隊 將校以下一一名

九月三日 作業状況

以曜日 六〇七〇ヨリ前日ニ引續キ堀取整地作業ヲ實施シ一八〇〇作業

晴夜中 了終了ス(人員一〇四名)

於伊江島 残留隊 指揮班及各小隊ニ協力人員ニ配當シ交通壕、補修

同機装ヲ實施ス(人員一三名)

宿營地 二伊江島 露營

勤務 三部隊 日直將校 田開曹長

日直下士官 伊藤伍長 同上等兵 柳澤上等兵

四島川軍曹 疾病、夕ニ残留隊ニ歸還ス

員 五伊江島 將校以下一一名

残留隊 將校以下一一名

九月三日 作業状況

水曜日 六〇七〇ヨリ作業開始シ引續キ堀取運搬整地作業ヲ實

於伊江島 施三一八〇〇終了ス(人員一〇〇名)

残留隊 協力隊ヲ各小隊ニ配當シ交通壕ヲ構築並ニ橋

架ヲ實施ス(人員一四名)

二此等守兵以下五名ハ石井少尉 指揮下ニシテ運搬作

業ヲ實施ス(人員五名ヨリ引續キ)

命 獨逸兵 三(北島)空襲警戒 有力艦隊ニ三四日夜 同島東方六〇〇料

附近ニ後退シテ後古灣南西諸島ニ策動模様ヲ

(一) 聯隊 射撃監視並ニ機ヲ失セズ 対空射撃ヲ實施シ得ル